

SAWAYAKA SHINKIN BANK Business condition report

さわやか景況レポート

(2023年10月～12月期)

目次

景況D Iレポート	・・・ 1
製造業	・・・ 2
卸売業	・・・ 3
小売業	・・・ 4
サービス業	・・・ 5
建設業	・・・ 6
不動産業	・・・ 7
特別調査	・・・ 8
さわやか信用金庫独自調査	・・・ 9
各種統計指数	・・・ 10



第64号 2024年2月

夢と未来のサポーター

 さわやか信用金庫

景況DIレポート

2023年10月～12月期（第3四半期）NO.64

調査方法について

製造業、卸売業、小売業、サービス業、建設業、不動産業の6業種を対象に調査を実施いたしました。

当金庫職員が、お取引先にご協力いただき聞き取り調査を実施しています。

2023年度第3四半期を2023年度第2四半期と比較した実績と、

2023年度第4四半期を比較した見通しを調査したものです。

特別調査(553先)では、四半期ごとに異なったテーマのアンケートを実施しています。

独自調査(553先)ではさわやか信用金庫独自のテーマでアンケートを実施しています。

3ヶ月ごと(毎四半期)にレポートを作成しています。

調査企業の内訳

(単位:先)

従業員数	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	計
1～4	67	14	112	25	15	19	252
5～9	43	8	18	13	13	5	100
10～19	37	8	8	16	10	2	81
20～29	8	4	8	14	9	2	45
30～49	14	3	4	13	8	1	43
50～99	12	3	2	4	4	1	26
100以上	5	0	0	0	1	0	6
計	186	40	152	85	60	30	553

DIについて

DI(Diffusion Index)とは、景気動向指数ともいわれ、景気の動きの方向を判断する指標です。「増加(楽)」の回答割合から「減少(苦しい)」の割合を差し引いて表します。たとえば、増加と回答した企業が40%、減少と回答した30%であった場合、「40% - 30%」= 10ポイントとなります。調査結果は、DIに季節調整を行って表しています。

季節調整について

統計指数から季節的な要因を取り除き、分析しやすい形にすることをいいます。例えば、「ビールは夏に売れる」「ボーナス時期には消費が増加する」等、統計指標には1年を周期とする季節的な要因があります。景気動向を見るためには、このような季節変動を考慮する必要があるため、季節調整を行います。

今期のDI

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総合
業況	-6.3	-32.0	-22.9	-3.6	3.4	8.9	-10.4
売上	-0.3	-27.6	-12.0	-5.3	0.0	12.2	-5.5
収益	-0.7	-26.7	-14.9	-11.2	-4.3	-1.8	-8.5

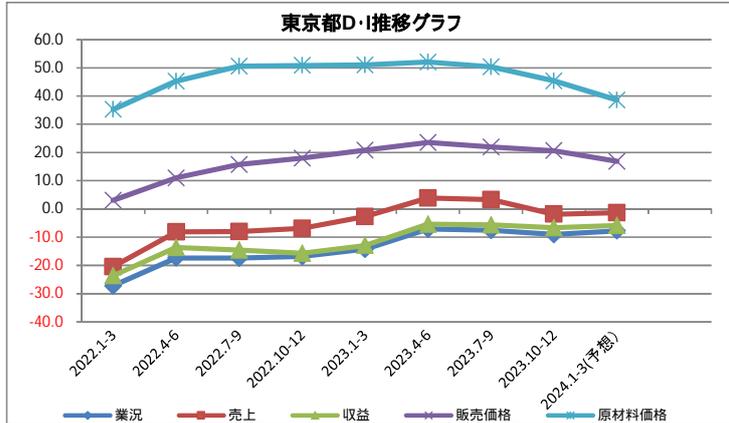
今期のコメント

製造業	業況・収益ともにやや改善、売上はわずかに改善
卸売業	業況・売上・収益ともに悪化
小売業	業況はやや改善、売上はほぼ横這い、収益はわずかに改善
サービス業	業況はわずかに悪化、売上・収益ともに悪化
建設業	業況・売上ともに大幅に悪化、収益も悪化
不動産業	業況はわずかに改善、売上は改善、収益はわずかに悪化

製造業

東京都全体 調査先有効回答先数 2,177先

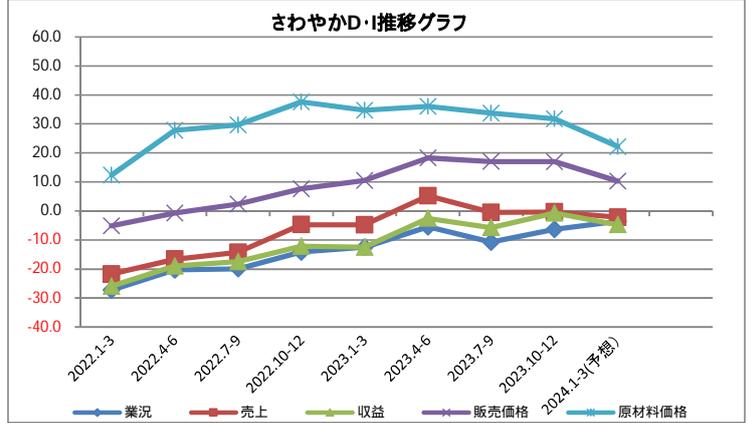
	2022.10-12	2023.1-3	2023.4-6	2023.7-9	2023.10-12	2024.1-3 (予想)
業況	-16.8	-14.2	-7.1	-7.5	-9.0	-7.7
売上	-6.8	-2.7	3.9	3.3	-1.8	-1.3
収益	-15.7	-12.9	-5.4	-5.6	-6.6	-5.8
販売価格	18.0	20.9	23.6	22.0	20.7	16.9
原材料価格	50.9	51.1	52.1	50.4	45.4	38.6
借入実施	20.2	18.7	17.8	19.0	20.4	15.3
設備実施	15.2	15.6	17.7	17.3	15.4	16.4



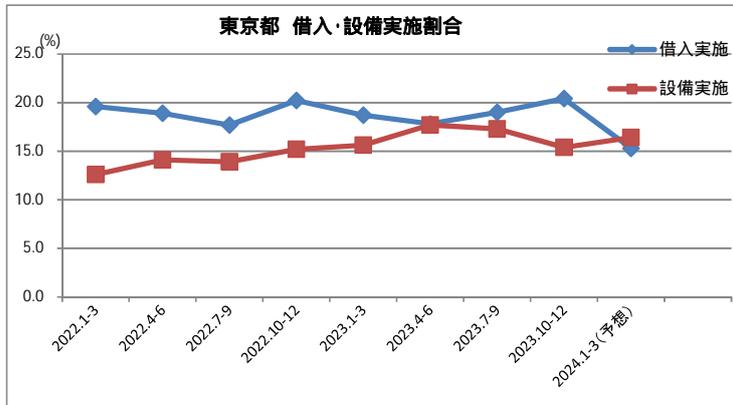
業況DIは対前期比やや悪化し、依然としてマイナス水準である。売上DIは対前期比悪化し、マイナスに転じた。販売価格DIは対前期比わずかに低下したが、20.7に留まり、原材料価格DIも対前期比低下したが、45.4と高止まっている。

さわやか信用金庫 調査先有効回答先数 186先

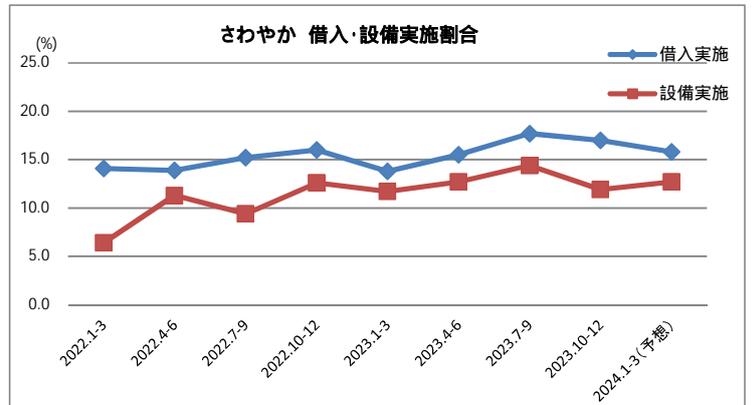
	2022.10-12	2023.1-3	2023.4-6	2023.7-9	2023.10-12	2024.1-3 (予想)
業況	-14.1	-12.5	-5.4	-10.7	-6.3	-3.6
売上	-4.7	-4.8	5.2	-0.5	-0.3	-2.1
収益	-12.1	-12.5	-2.5	-5.7	-0.7	-4.7
販売価格	7.7	10.5	18.3	17.1	17.0	10.3
原材料価格	37.6	34.8	36.1	33.8	31.8	22.2
借入実施	16.0	13.8	15.5	17.7	17.0	15.8
設備実施	12.6	11.7	12.7	14.4	11.9	12.7



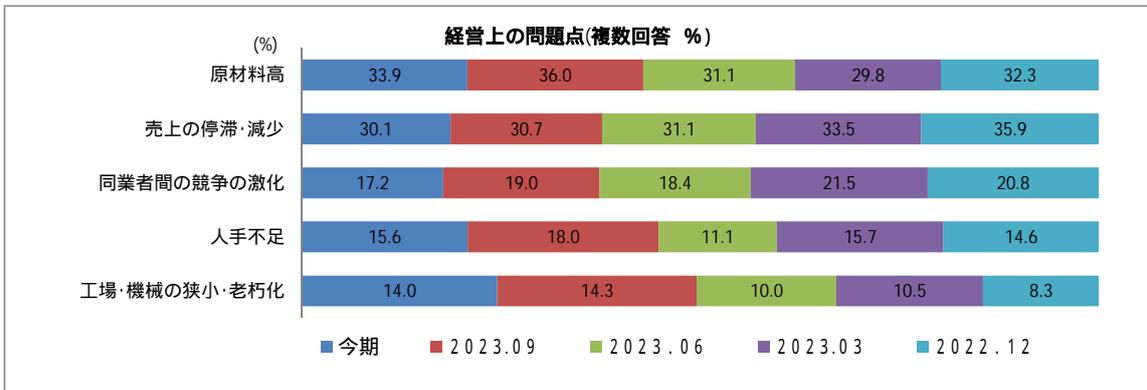
業況DIは対前期比改善したが、依然としてマイナス水準である。売上DIは対前期比ほぼ横這いで、わずかにマイナス水準である。販売価格DIは対前期比ほぼ横這いで17.0となり、原材料価格DIも対前期比やや低下し、31.8で推移した。「東京都全体」と比較して原材料価格は同様に推移しているが、やや低水準である。



借入実施割合は対前期比わずかに増加し、2022年3月期から17%台～20%台で推移した。設備実施割合は対前期比15.4%とわずかに減少した。



借入実施割合は対前期比わずかに減少した。設備実施割合は対前期比やや減少した。

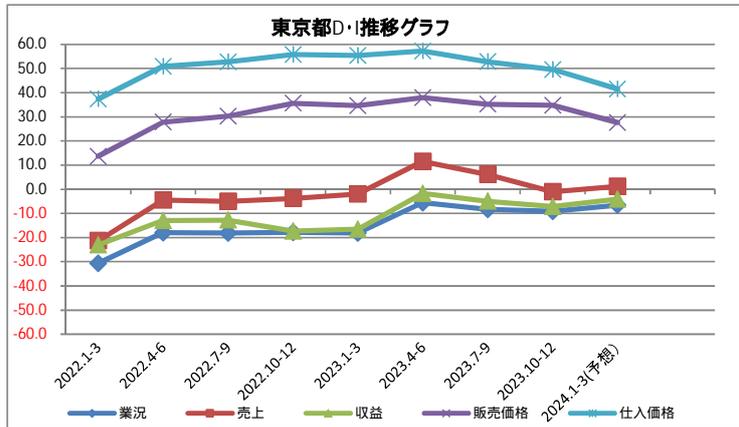


* 経営上の問題点(さわやか信用金庫お取引先様ご回答)では、1位は前期に引き続き、「原材料高」の回答割合が高く33.9%となった。2位は「売上の停滞・減少」(30.1%)の回答が続き、3位は「同業者間の競争の激化」(17.2%)となった。

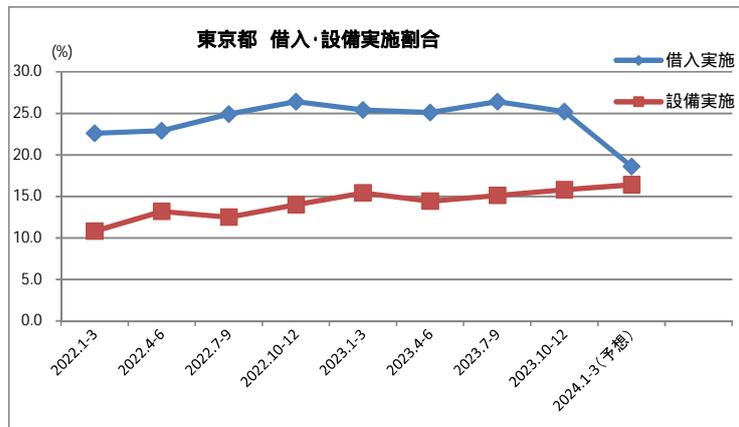
卸売業

東京都全体 調査先有効回答先数 746先

	2022.10-12	2023.1-3	2023.4-6	2023.7-9	2023.10-12	2024.1-3 (予想)
業況	-17.8	-18.1	-5.5	-8.3	-9.1	-6.5
売上	-3.7	-1.9	11.6	6.2	-1.0	1.2
収益	-17.3	-16.5	-1.7	-4.9	-7.1	-4.0
販売価格	35.7	34.7	38.0	35.3	34.8	27.7
仕入価格	55.9	55.5	57.3	52.9	49.6	41.6
借入実施	26.4	25.4	25.1	26.4	25.2	18.6
設備実施	14.0	15.4	14.4	15.1	15.8	16.4



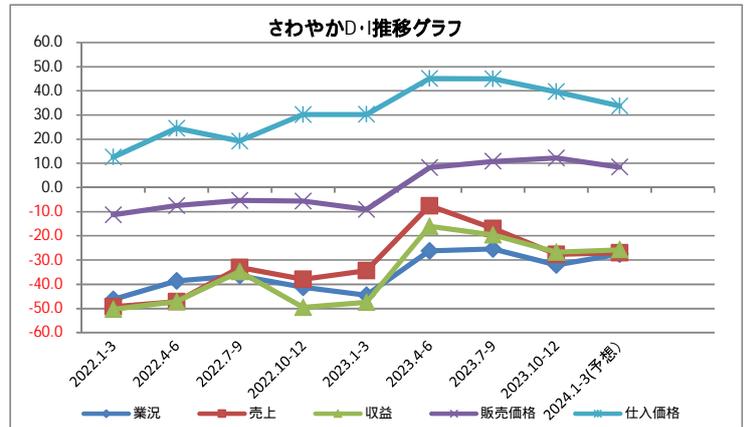
業況DIは対前期並で、依然としてマイナス水準である。
売上DIは対前期比悪化し、マイナスに転じた。
販売価格DIは今期34.8と前期並で、仕入価格DIは対前期比やや低下したが、49.6と高止まりしている。



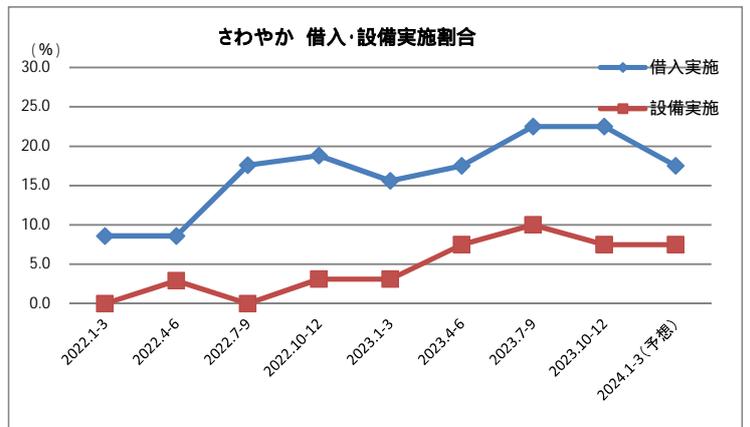
借入実施割合は2022年9月期から25%前後で推移し、設備実施割合は2022年9月期から12%台～15%台で推移した。

さわやか信用金庫 調査先有効回答先数 40先

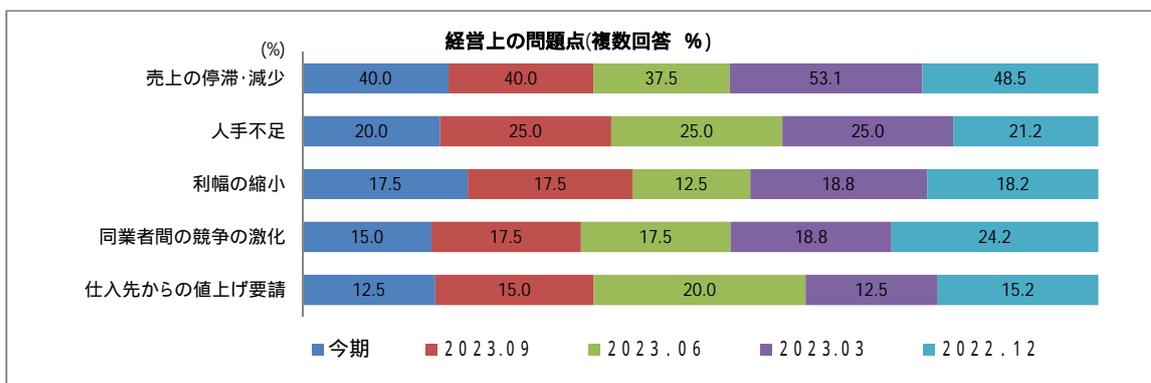
	2022.10-12	2023.1-3	2023.4-6	2023.7-9	2023.10-12	2024.1-3 (予想)
業況	-41.2	-44.5	-26.2	-25.4	-32.0	-27.5
売上	-37.9	-34.4	-7.5	-16.9	-27.6	-27.0
収益	-49.5	-47.4	-16.0	-19.6	-26.7	-25.7
販売価格	-5.6	-9.0	8.3	10.9	12.3	8.5
仕入価格	30.2	30.3	45.1	45.0	39.7	33.8
借入実施	18.8	15.6	17.5	22.5	22.5	17.5
設備実施	3.1	3.1	7.5	10.0	7.5	7.5



業況・売上・収益DIともに対前期比悪化し、依然としてマイナス水準である。販売価格DIは3期連続上昇し12.3となった。
仕入価格DIは対前期比低下し、39.7となった。販売価格は上昇傾向ではあるが、「東京都全体」と比較して、緩やかに推移している。



借入実施割合は対前期比変化なく、今期は22.5%となった。
設備実施割合は対前期比やや減少し、今期は7.5%となった。



* 経営上の問題点(さわやか信用金庫お取引先様ご回答)では、1位は前期に引き続き、「売上停滞・減少」の回答割合が高く40.0%となった。2位は「人手不足」(20.0%)の回答が続き、3位は「同業者間の競争の激化」(17.5%)となった。

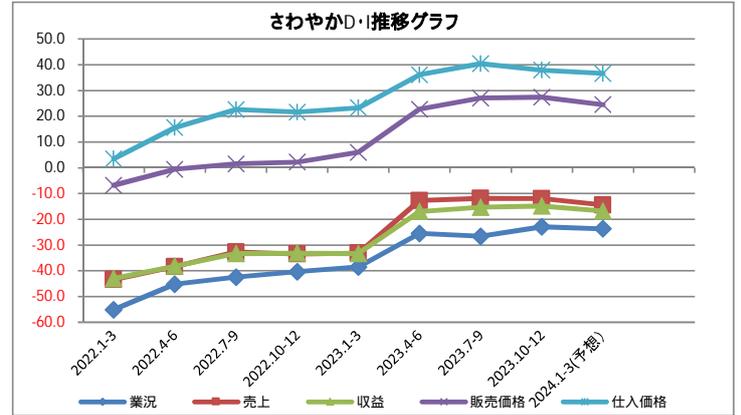
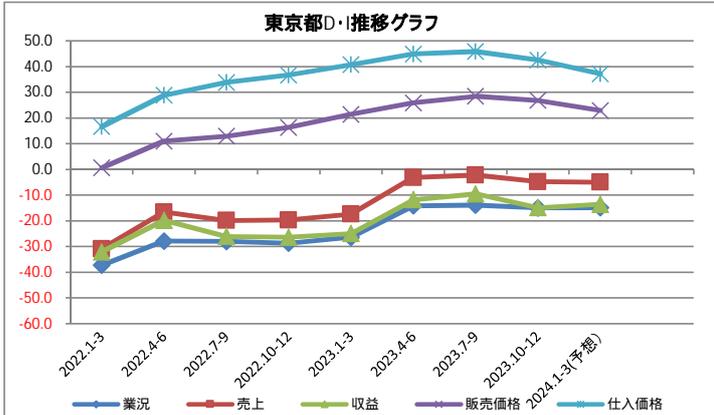
小売業

東京都全体 調査先有効回答先数 1,370先

	2022.10-12	2023.1-3	2023.4-6	2023.7-9	2023.10-12	2023.1-3 (予想)
業況	-28.7	-26.4	-14.2	-13.9	-15.0	-14.9
売上	-19.7	-17.4	-3.2	-2.2	-4.8	-5.0
収益	-26.4	-25.0	-11.8	-9.5	-14.9	-13.6
販売価格	16.3	21.4	25.9	28.4	26.8	22.9
仕入価格	36.7	40.7	44.9	45.8	42.5	37.2
借入実施	11.3	9.5	9.5	10.7	10.0	7.6
設備実施	6.8	6.8	7.4	6.7	8.3	7.9

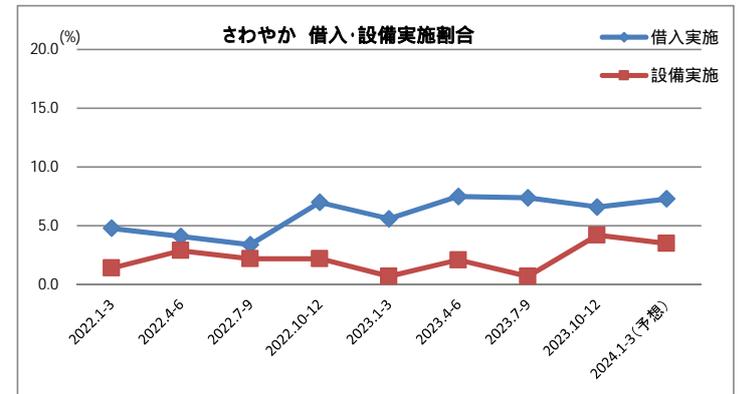
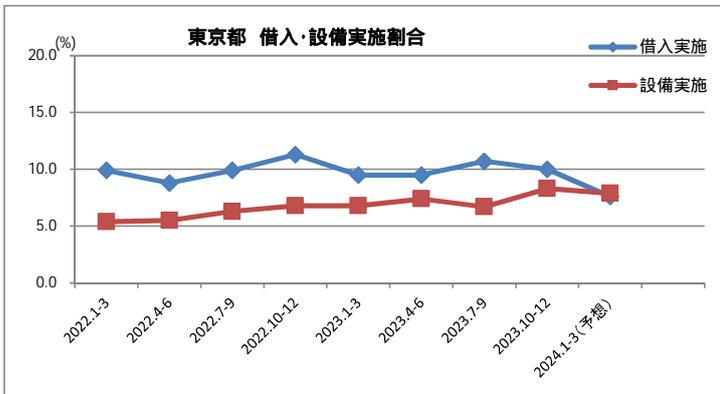
さわやか信用金庫 調査先有効回答先数 152先

	2022.10-12	2023.1-3	2023.4-6	2023.7-9	2023.10-12	2023.1-3 (予想)
業況	-40.4	-38.5	-25.5	-26.6	-22.9	-23.7
売上	-33.5	-33.1	-12.7	-11.9	-12.0	-14.5
収益	-33.1	-33.3	-17.0	-15.3	-14.9	-16.8
販売価格	2.2	6.0	22.7	27.1	27.4	24.5
仕入価格	21.6	23.3	36.1	40.4	37.9	36.6
借入実施	7.0	5.6	7.5	7.4	6.6	7.3
設備実施	2.2	0.7	2.1	0.7	4.2	3.5



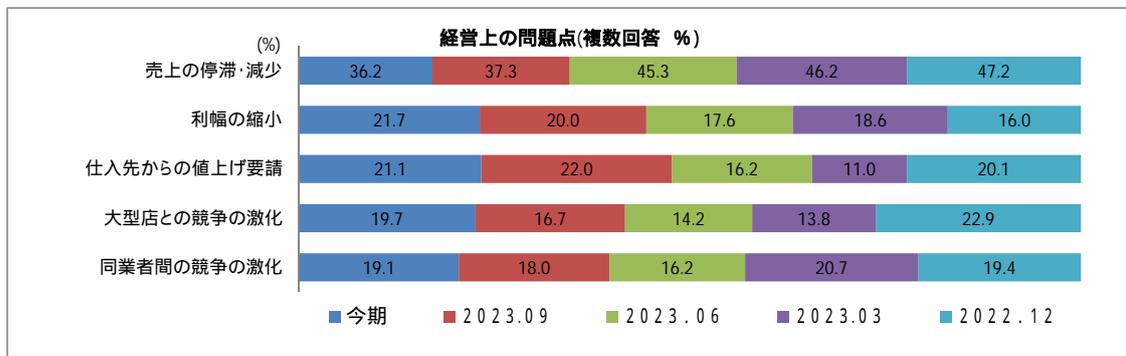
業況・売上・収益DIはともに依然としてマイナス水準であり、対前期比ではやや悪化した。
販売価格・仕入価格DIともにやや低下したが、仕入価格DIは42.5と高止まりしている。

業況・売上・収益DIはともに依然としてマイナス水準であるが、対前期比では業況・収益ともにやや改善し、売上はほぼ横這いであった。
販売価格DIは9期連続上昇し仕入価格DIは対前期比やや低下した。「東京都全体」と比較して、仕入価格はやや緩やかに推移している。



借入実施割合は2022年12月期の11.3%をピークに、8%台～11%台で推移している。
設備実施割合は対前期比やや増加し、8.3%となった。

借入実施割合は今期6.6%と対前期比わずかに減少した。
設備実施割合は今期4.2%と対前期比増加した。



* 経営上の問題点(さわやか信用金庫お取引先様ご回答)では、1位は前期に引き続き、「売上の停滞・減少」の回答割合が高く36.2%となった。2位の「利幅の縮小」(21.7%)は回答割合が徐々に上昇しており、3位は「仕入先からの値上げ要請」(21.1%)となった。

サービス業

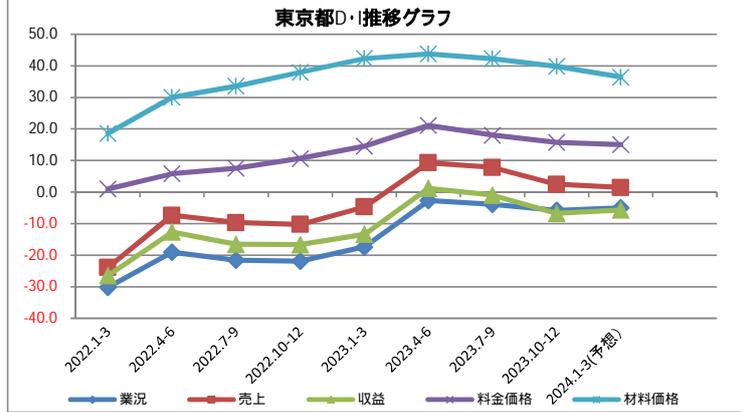
東京都全体 調査先有効回答先数 1,229先

	2022.10-12	2023.1-3	2023.4-6	2023.7-9	2023.10-12	2024.1-3 (予想)
業況	-21.9	-17.4	-2.7	-3.9	-5.8	-5.0
売上	-10.3	-4.7	9.3	7.8	2.4	1.4
収益	-16.7	-13.4	1.2	-1.0	-6.8	-5.7
料金価格	10.6	14.5	21.1	18.0	15.7	15.0
材料価格	37.9	42.3	43.8	42.2	39.8	36.4
借入実施	17.3	13.8	15.9	15.9	15.6	15.2
設備実施	16.3	16.2	16.7	15.7	16.7	17.8

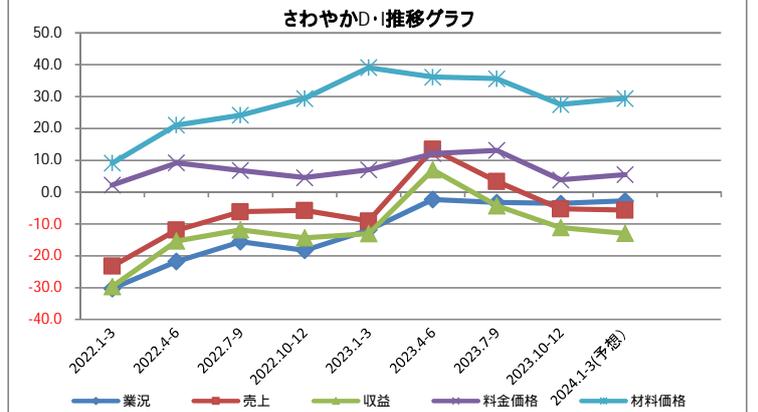
さわやか信用金庫 調査先有効回答先数 85先

	2022.10-12	2023.1-3	2023.4-6	2023.7-9	2023.10-12	2024.1-3 (予想)
業況	-18.3	-11.9	-2.3	-3.3	-3.6	-2.8
売上	-5.8	-9.1	13.4	3.3	-5.3	-5.7
収益	-14.4	-13.1	7.0	-4.3	-11.2	-13.0
料金価格	4.5	7.0	12.1	13.1	3.8	5.5
材料価格	29.4	39.1	36.1	35.6	27.5	29.4
借入実施	10.2	10.2	16.3	14.0	10.6	14.3
設備実施	1.7	3.4	3.6	6.0	2.4	6.0

東京都D・推移グラフ



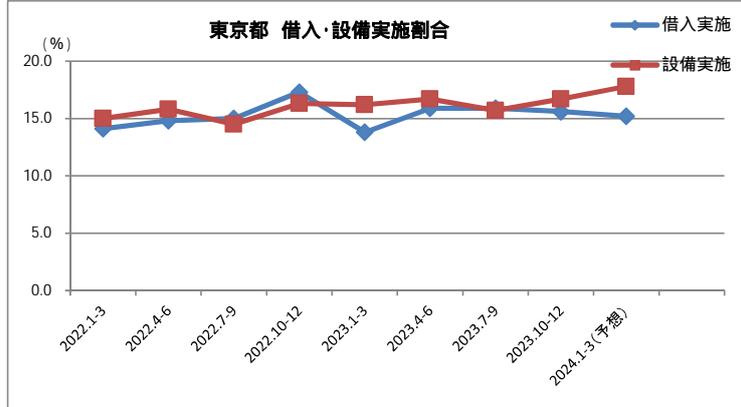
さわやかD・推移グラフ



業況・売上・収益DIはともに対前期比では悪化し、業況・収益はマイナス水準のままである。料金価格・材料価格DIはともに対前期比やや低下した。

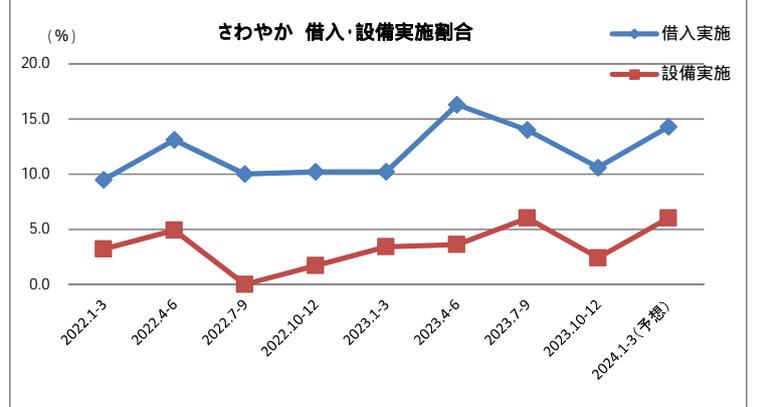
業況・売上・収益DIともに対前期比では悪化し、売上はマイナスへ転じた。料金価格・材料価格DIともに対前期比では低下した。「東京都全体」と比較して、料金価格・仕入価格ともに緩やかに推移している。

東京都 借入・設備実施割合



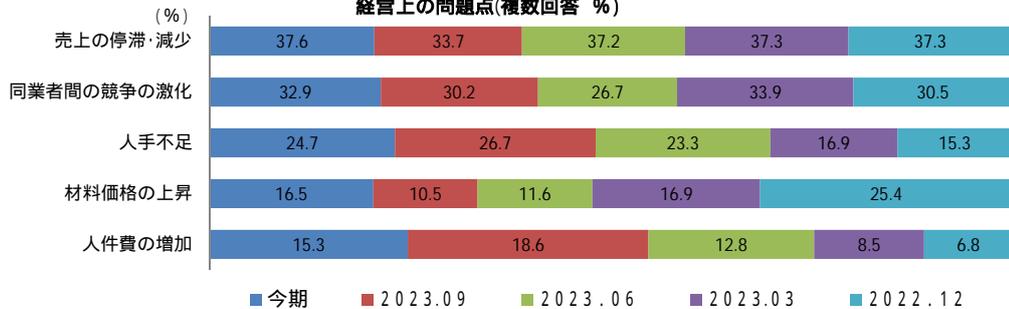
借入実施割合は2022年3月期から13%台～17%台で推移し、設備実施割合は2022年3月期から15%台～16%台で推移した。

さわやか 借入・設備実施割合



借入実施割合は今期10.6%と対前期比では3.4ポイント減少し、設備実施割合は対前期比やや減少し、2.4%となった。

経営上の問題点(複数回答 %)



* 経営上の問題点(さわやか信用金庫お取引先様ご回答)では、1位は前期に引き続き、「売上の停滞・減少」の回答割合が高く37.6%となった。2位の「同業者間の競争の激化」(32.9%)の回答割合は前期より上昇しており、3位は「人手不足」(24.7%)となった。

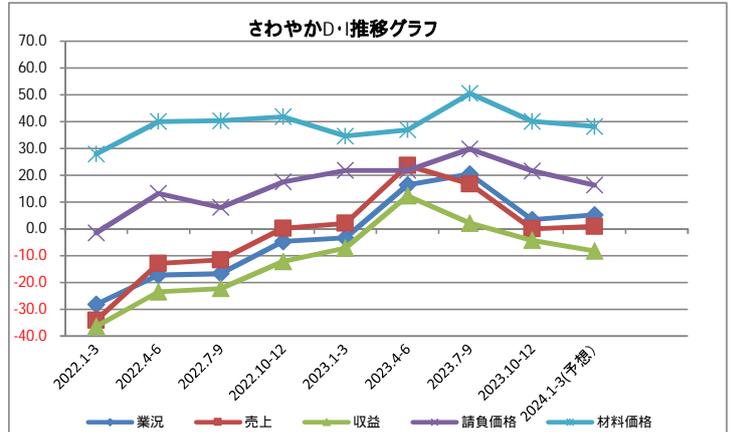
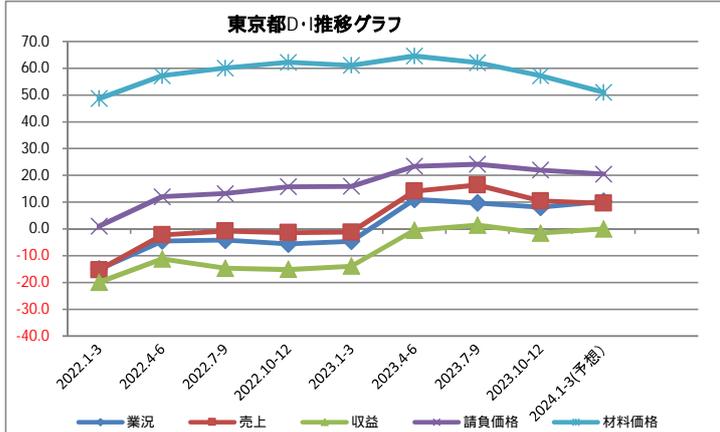
建設業

東京都全体 調査先有効回答先数 1,033先

	2022.10-12	2023.1-3	2023.4-6	2023.7-9	2023.10-12	2024.1-3 (予想)
業況	-5.6	-4.6	11.0	9.7	8.1	10.3
売上	-1.4	-1.2	14.1	16.4	10.5	9.6
収益	-15.1	-13.9	-0.5	1.4	-1.6	0.0
請負価格	15.8	15.9	23.4	24.2	22.0	20.5
材料価格	62.2	61.1	64.6	62.1	57.2	51.0
借入実施	24.8	23.1	25.6	26.3	27.4	19.2
設備実施	15.3	18.2	18.2	17.8	17.2	16.2

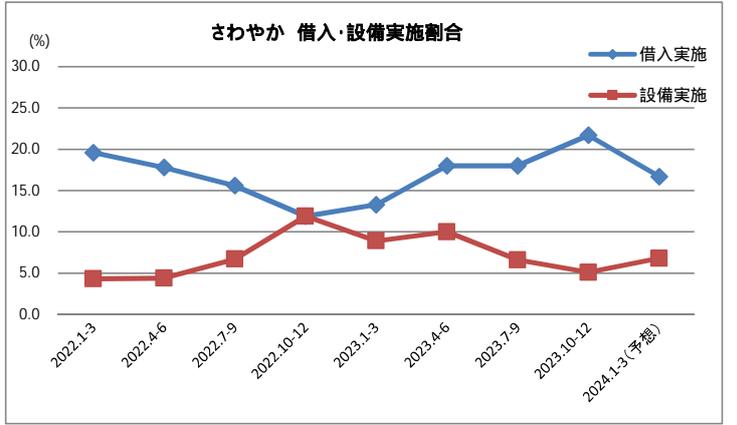
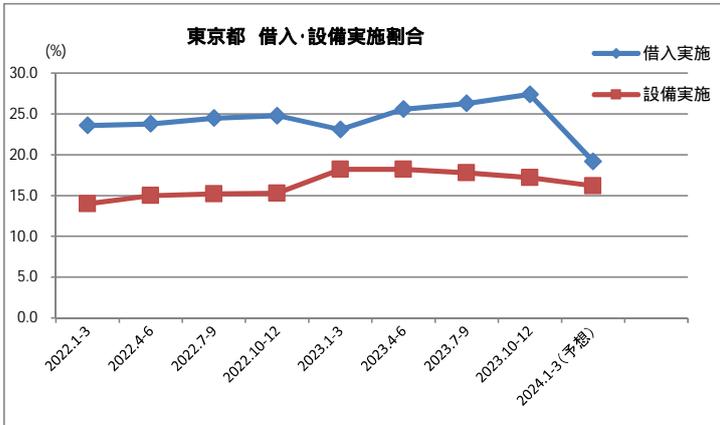
さわやか信用金庫 調査先有効回答先数 60先

	2022.10-12	2023.1-3	2023.4-6	2023.7-9	2023.10-12	2024.1-3 (予想)
業況	-4.7	-3.4	16.4	20.4	3.4	5.2
売上	0.2	2.0	23.6	16.7	0.0	0.9
収益	-12.2	-7.2	12.3	2.1	-4.3	-8.3
請負価格	17.5	21.8	21.8	29.8	21.6	16.3
材料価格	41.8	34.6	36.9	50.5	40.1	38.2
借入実施	11.9	13.3	18.0	18.0	21.7	16.7
設備実施	11.9	8.9	10.0	6.6	5.1	6.8



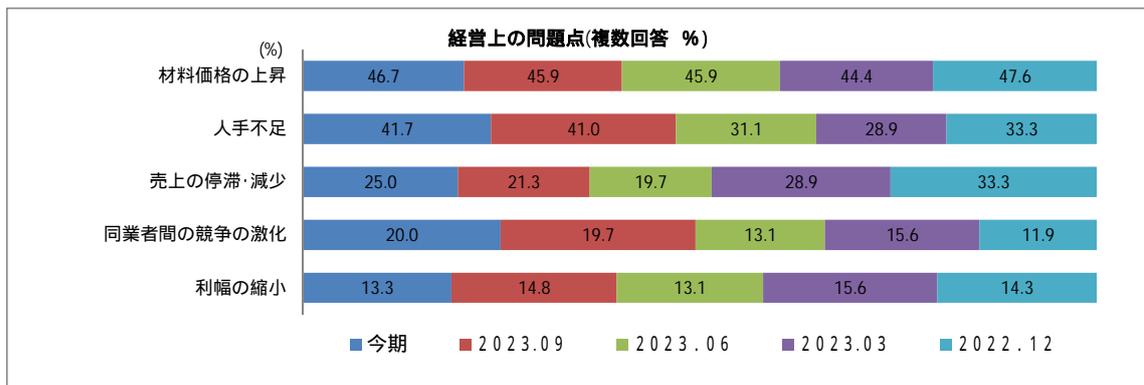
業況・売上・収益DIはともに対前期比悪化した。収益DIは再びマイナスへ転じた。請負価格・材料価格DIともに対前期比低下するも、材料価格DIは57.2と高止まりしている。

業況・売上・収益DIはともに対前期比悪化し、収益DIはマイナスへ転じた。請負価格・材料価格DIはともに対前期比大幅に低下した。「東京都全体」と比較して、材料価格はやや低水準で推移している。



借入実施割合は対前期比わずかに増加し、27.4%となった。設備実施割合は今期17.2%と対前期比わずかに減少した。

借入実施割合は今期21.7%と対前期比やや増加した。設備実施割合は今期5.1%と対前期比わずかに減少した。

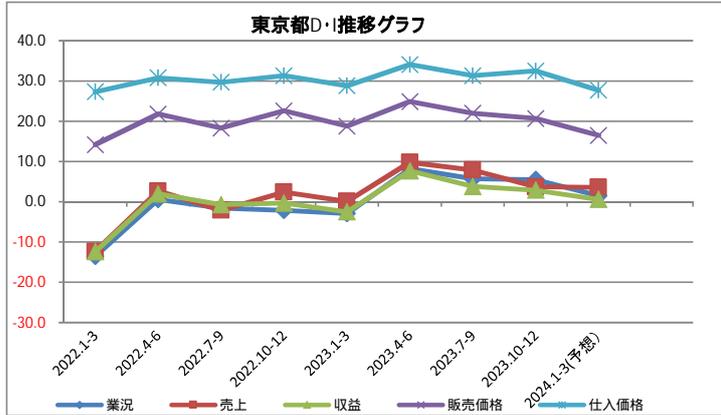


* 経営上の問題点(さわやか信用金庫お取引先様ご回答)では、1位は前期に引き続き、「材料価格の上昇」の回答割合が高く46.7%となった。2位の「人手不足」(41.7%)の回答割合は徐々に上昇しており、3位は「売上の停滞・減少」(25.0%)と続いている。

不動産業

東京都全体 調査先有効回答先数 590先

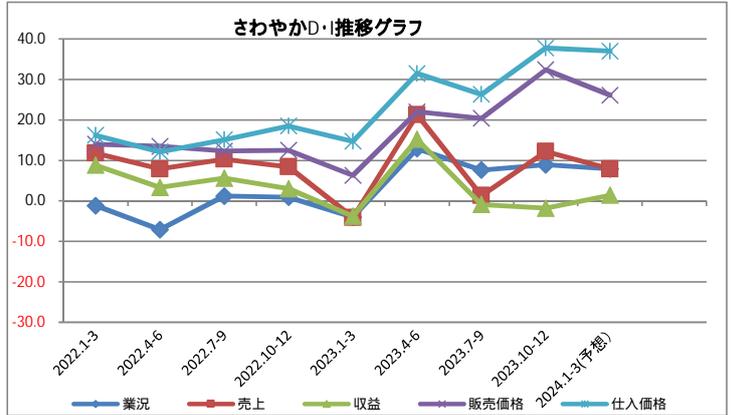
	2022.10-12	2023.1-3	2023.4-6	2023.7-9	2023.10-12	2024.1-3 (予想)
業況	-2.1	-2.9	8.2	5.7	5.5	1.5
売上	2.4	0.1	9.8	7.9	3.7	3.6
収益	-0.3	-2.5	7.7	3.8	2.9	0.6
販売価格	22.6	18.8	24.9	22.0	20.7	16.5
仕入価格	31.3	28.8	34.1	31.3	32.5	27.7
在庫数量	-14.0	-11.9	-13.5	-12.4	-11.9	-12.3
資金繰り	-0.5	-1.6	4.5	2.5	2.4	1.5



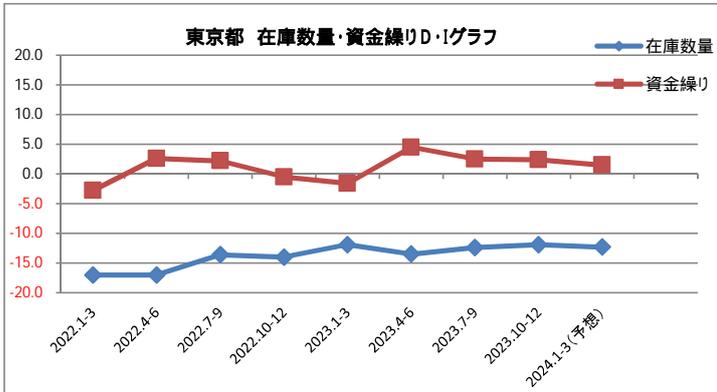
業況・売上・収益DIはともに対前期比でやや悪化したが、プラス水準を維持した。販売価格DIは2022年3月期からは上昇・低下を繰り返し、今期は20.7となった。仕入価格DIは今期は32.5と対前期比ではわずかに上昇した。

さわやか信用金庫 調査先有効回答先数 30先

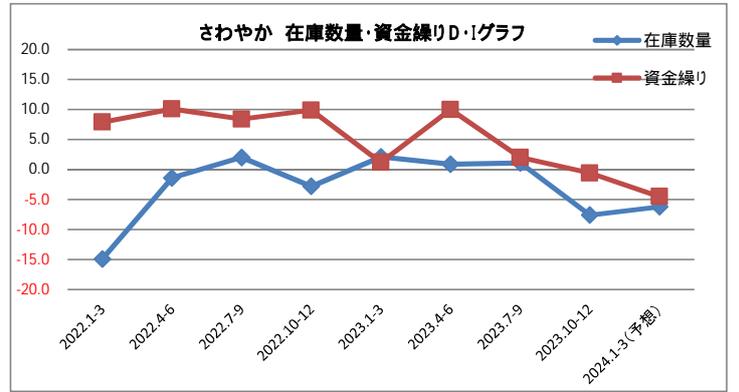
	2022.10-12	2023.1-3	2023.4-6	2023.7-9	2023.10-12	2024.1-3 (予想)
業況	0.9	-4.0	12.9	7.6	8.9	7.9
売上	8.4	-4.1	21.3	1.3	12.2	7.9
収益	3.0	-3.8	15.2	-0.9	-1.8	1.4
販売価格	12.5	6.3	22.0	20.4	32.4	26.1
仕入価格	18.5	14.7	31.5	26.3	37.8	37.0
在庫数量	-2.8	2.1	0.9	1.1	-7.6	-6.2
資金繰り	9.9	1.2	10.0	2.0	-0.6	-4.5



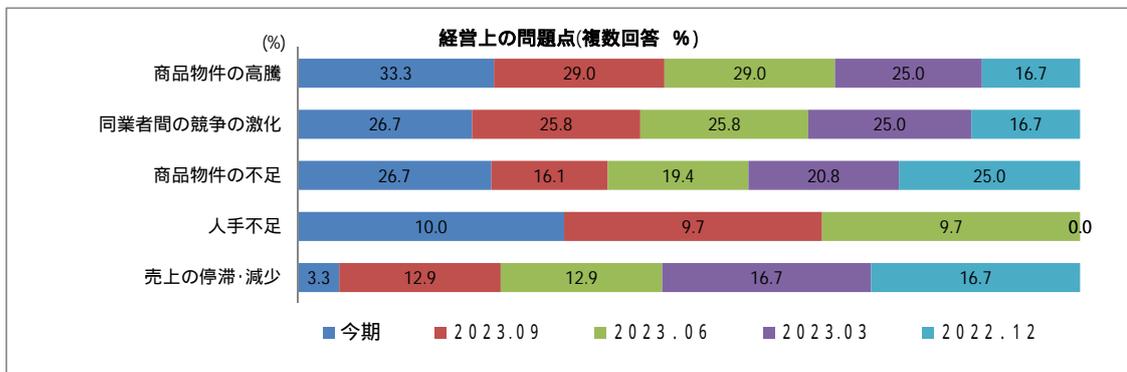
業況・売上DIはともに対前期比では増加し、収益DIはわずかに悪化して、マイナス水準のままとなった。販売価格・仕入価格DIとも今期は対前期比では大幅に上昇した。



在庫数量DIは2022年9月期から13.0ポイント前後で推移し、資金繰りDIは今期2.4と対前期比ではほぼ横這いであった。

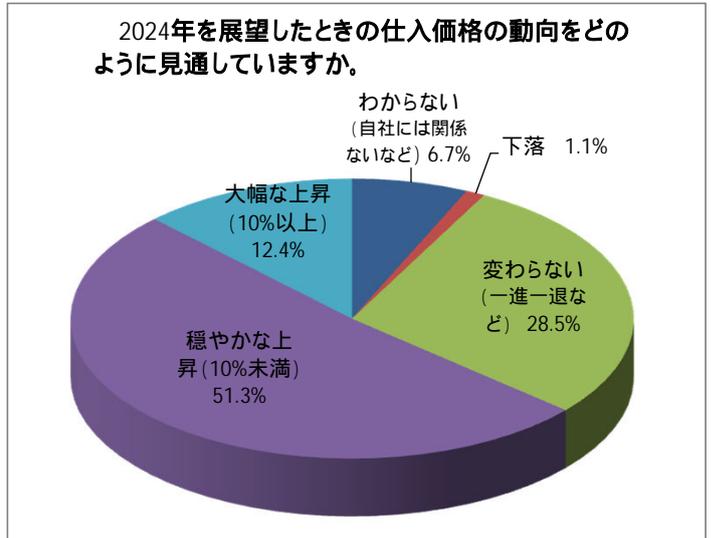
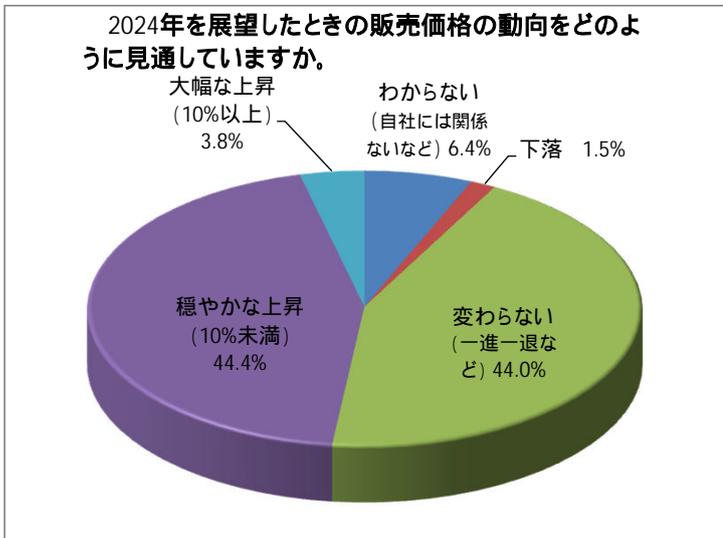
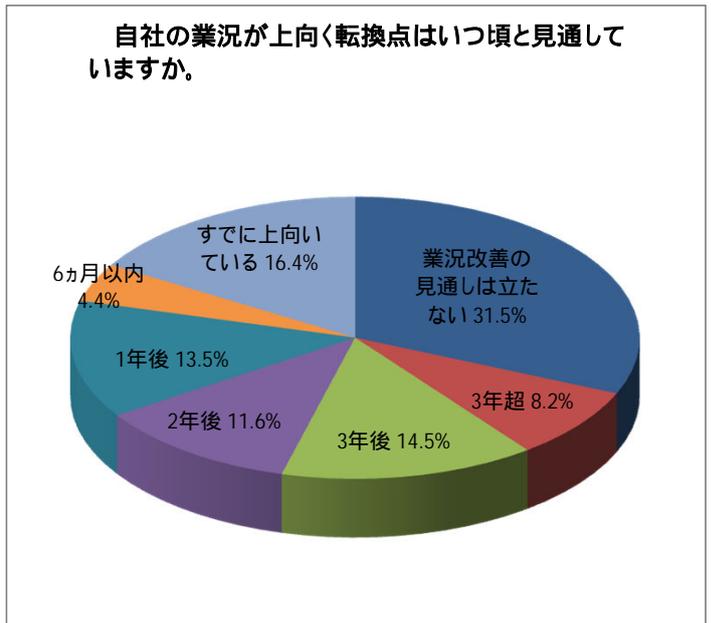
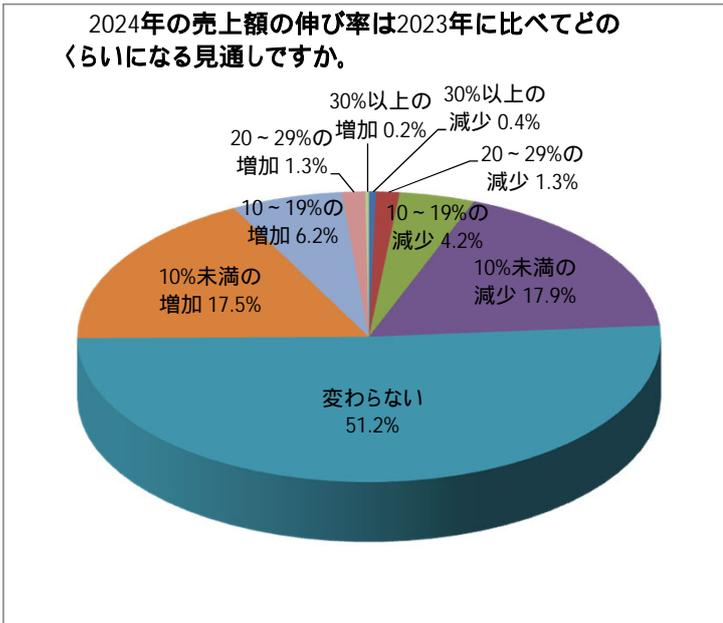
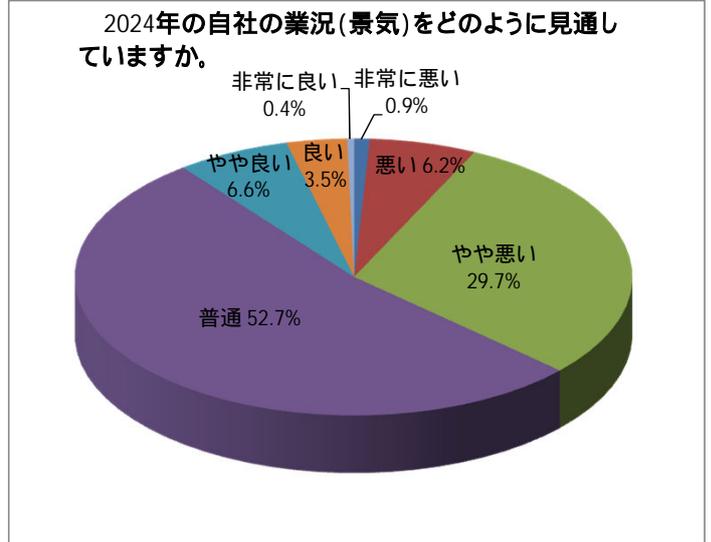
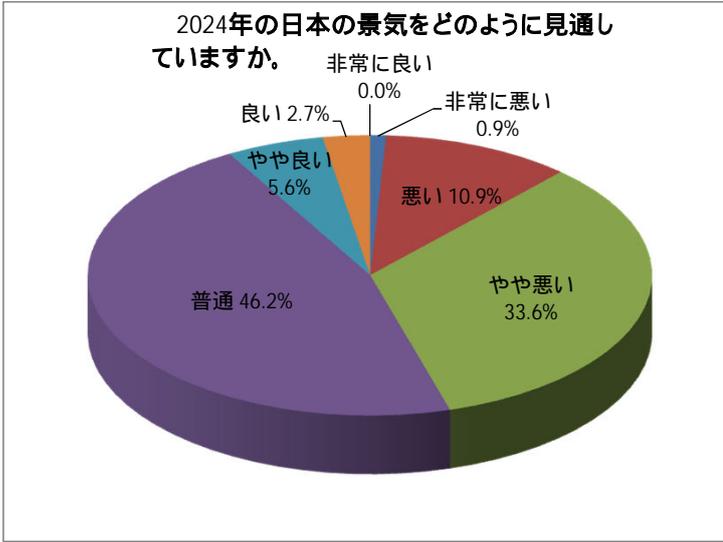


在庫数量DIは対前期比減少し、7.6となった。資金繰りDIは今期0.6と対前期比ではやや悪化した。



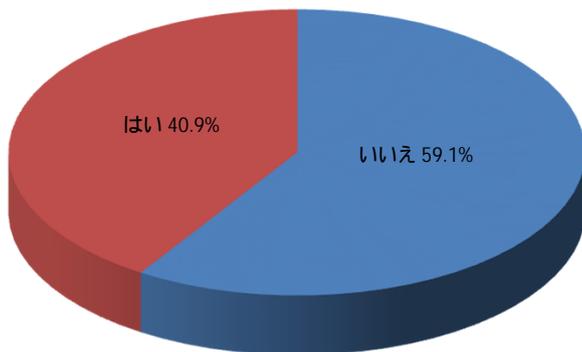
* 経営上の問題点(さわやか信用金庫お取引先様ご回答)では、1位は前期に引き続き、「商品物件の高騰」の回答割合が高く33.3%となった。2位は「同業者間の競争の激化」(26.7%)と「商品物件の不足」(同率2位・26.7%)の回答が続いている。

特別調査:2024年(令和6年)の経営見通し (さわやか信用金庫・アンケート回答 553先)

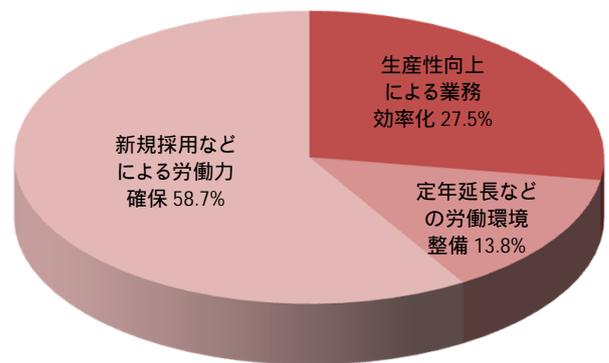


さわやか信用金庫独自調査：人手不足について (さわやか信用金庫・アンケート回答 553先)

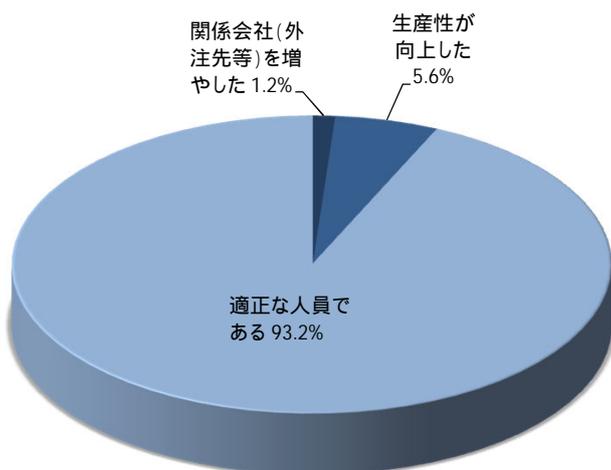
人手不足を感じていますか。



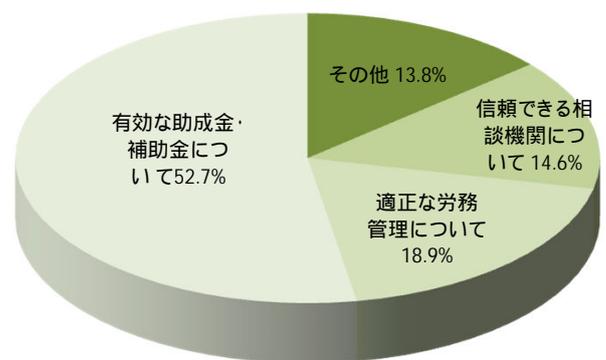
どのように人手不足を補いますか。



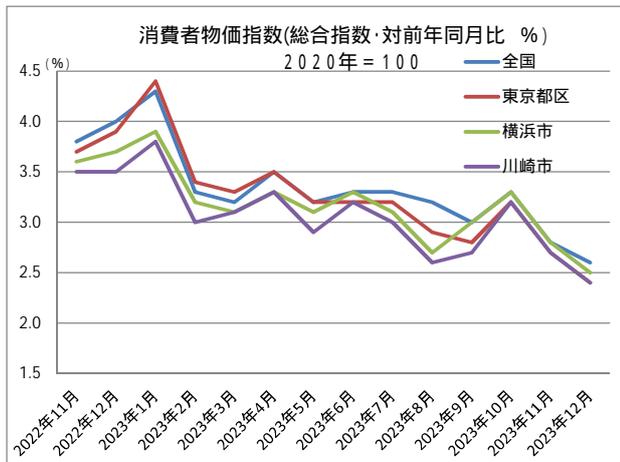
人手不足ではない理由は何ですか。



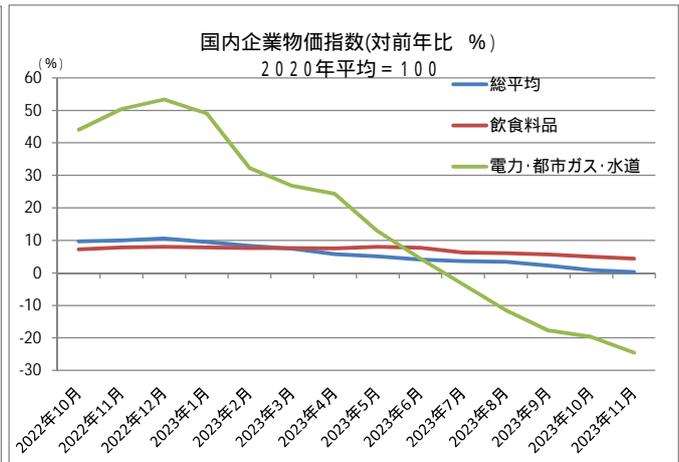
人手不足解消に向けた取り組みについてどのような情報が知りたいですか。



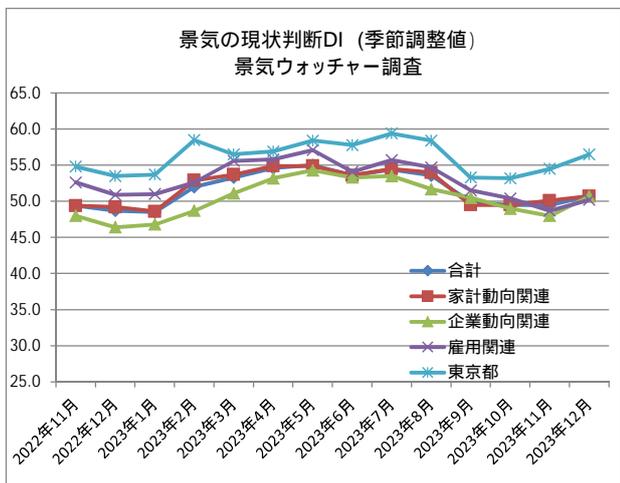
各種統計指数



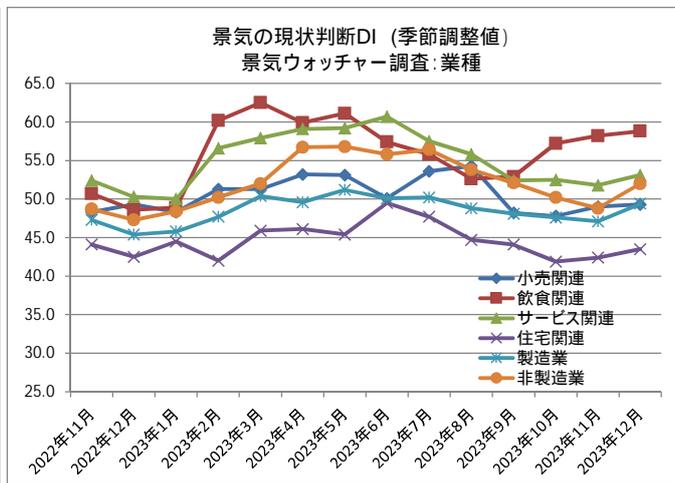
(出典: 総務省統計局)



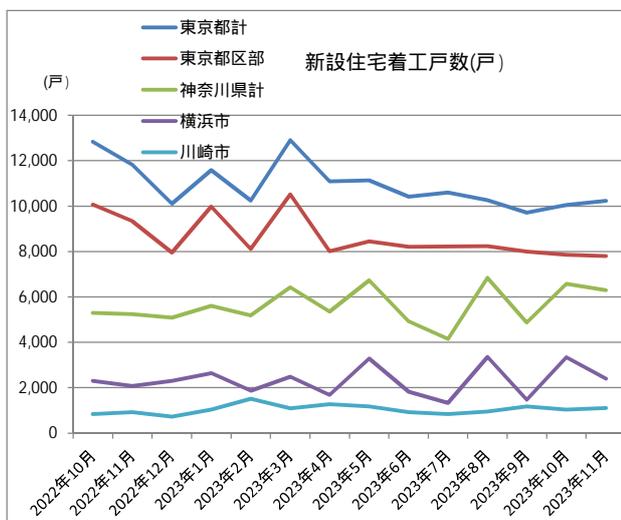
(出典: 日本銀行)



(出典: 内閣府)



(出典: 内閣府)



(出典: 国土交通省・東京都・神奈川県)

内閣府月例経済報告/基調判断の変化	
2023年1月	景気は、このところ一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。
2023年2月	景気は、このところ一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。
2023年3月	景気は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。
2023年4月	景気は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。
2023年5月	景気は、緩やかに回復している。
2023年6月	景気は、緩やかに回復している。
2023年7月	景気は、緩やかに回復している。
2023年8月	景気は、緩やかに回復している。
2023年9月	景気は、緩やかに回復している。
2023年10月	景気は、緩やかに回復している。
2023年11月	景気は、このところ一部に足踏みもみられるが、緩やかに回復している。
2023年12月	景気は、このところ一部に足踏みもみられるが、緩やかに回復している。

(出典: 内閣府)

さわやか信用金庫 コンサルティングセンターからのご案内

次世代経営者・幹部向け講座

さわやか塾

【さわやか塾】とは...

企業は「環境適応業」。強い企業ではなく、環境に適応できた企業が生き残る、これが経営の原理原則です。2020年からのコロナ禍にあって、新しい顧客の創造が停滞し、顧客数が伸び悩んでいる企業が多く見られます。そんな不確実性の高い経営環境において、従来のビジネスモデルから新たなビジネスモデルを再構築することが必要不可欠です。

当塾は、経営の基本に着眼し、『体系的な経営の基本の体得と時代を生き抜く先見性』を磨くことを目的としています。また、勉強会の開催のみならず、各種経営情報の提供を加え、総合的に皆様の経営活動をご支援させていただきます。

異業種の次世代経営者、幹部の方々が集まる当塾で新たな交流の場としてもご活用頂けます。

次世代経営者として具備すべき条件は、「決断力」「統率力」「実行力」の総合力発揮といわれております。

決断力 - 本物と本質を見抜く能力

統率力 - 自分より優れている能力を持つ人々を部下として、自在に動かす力

実行力 - 意志力と行動力であり、究極は自力開発即ち自己啓発と健康管理

志高く向上心ある若手経営者、後継者・経営幹部の皆さまのご参加をお待ちしております。

当塾は、経営コンサルティング企業の㈱タナベコンサルティング（プライム市場上場）と提携し塾生の経営支援を行って参ります。

実施要領		申込要領	
対象者	若手経営者、後継者、経営幹部の皆様	お申込方法	別紙 入会申込書にご記入のうえ、担当者にお渡し下さい。受講料は、後日ご請求させていただきます。
期間	2024年5月から1年間	お申込期限	2024年3月29日（金）
募集人数	20名 （定員に達し次第、締切とさせていただきます。）	お問合せ お申込先	さわやか信用金庫 コンサルティングセンター内 「さわやか塾」事務局 〒144-0047 東京都大田区萩中 2-2-1 TEL：03-3742-0626 FAX：03-3742-0724
受講料	お一人様 ¥ 93,500（税込） 領収書につきましては発行日は5月1日以降となります。		

夢と未来のサポーター

さわやか信用金庫

